

育見

ファミリー サポート便り

第46号

発行年月

令和元年 12月

発行者：伊丹市育見
ファミリー・サポート・センター



申込
随時

育見ファミリー・サポート・センターは、「育見の援助を受けたい人」と「育見の援助を行いたい人」がお互いに会員になって、子育て中の人や働く人の家庭を地域で支えるシステムです。

令和元年度必須講座 第2回目

各種講座共通場所 いたみいきいきプラザ3階 会議室1 ※一部を除く

厚生労働省より通知があり、預かりを行うためには乳幼児の緊急救命講習(AED、心肺蘇生など)及び事故対策に関する講習の受講が必須となりました。伊丹市では、下記のように緊急救命を含む8講座を必須講座としております。よろしくお願いたします。

令和2年 9:30
1月17日 金 11:00

心の発達とその問題

「こどもの障がいの種類や特徴について」

講師

市こども発達支援センター 職員

令和2年 11:10
1月17日 金 12:40

心の発達とその問題

「障がいのあるこどもとの関わり方」

講師

市こども発達支援センター 職員

令和2年 9:30
1月18日 土 11:00

場所 いたみいきいきプラザ3階 会議室3

安全・事故

「乳幼児の緊急救命講習会」

講師

神戸救急グループ 救急インストラクター

令和2年 11:10
1月18日 土 12:40

子育て支援サービスを提供するために

「実際に活動を行うにあたっての手順やルール、注意事項について」

講師

育見ファミリー・サポート・センター アドバイザー

令和2年 9:30
1月22日 水 11:00

保育の心

「育見支援者としての心構えと親子との関わり方について」

講師

市幼児教育推進課 保育士

令和2年 11:10
1月22日 水 12:40

安全・事故

「事故対策講習会」

講師

NPO法人 C・キッズ・ネットワーク

令和2年 9:30
1月29日 水 11:00

こどもの世話

「こどもが快適に過ごすための必要なケアと環境づくり」

講師

市健康政策課 保健師

令和2年 11:10
1月29日 水 12:40

こどもの栄養と食生活

「こどもの栄養と食生活」

講師

市健康政策課 栄養士

★要申込み★参加費は無料

★一時保育あり(1歳以上就学前まで)※事前に事務局にご連絡ください

★託児料(1人 300円 2人目以降 150円)※託児は会議室2にて。



必須講座 (第1回)

32名の方に受講いただき、その内14名が全受講されましたので、修了証をお渡しいたしました。

令和元年
6月26日
(水)

心の発達とその問題

「こどもの障がいの種類や特徴について」

講師 市こども発達支援センター 職員 桶川美智子さん

障がいとは何か、現在の障がいの考え方、障がいの種類と制度について、学びました。伊丹市の取り組みについても知ることができました。「共生社会の実現に向けて生活する」とは、「ファミサポの援助活動が地域社会とつながる大切な場である」と聞いて、みなさん大きくうなずかれていました。



令和元年
6月26日
(水)

心の発達とその問題

「障がいのあるこどもとの関わり方」

講師 市こども発達支援センター 職員 桶川美智子さん

困っているのはだれか？こどもの特徴を知り、マイナスの言葉をプラスの言葉に変えるなど、関わり方のポイントを具体的に学びました。グループに分かれて「こんな時、どうする？」という様々な事例に対する対応も、みなさん積極的に話し合われていました。



令和元年
6月29日
(土)

子育て支援サービスを提供するために

「実際に活動を行うにあたっての
手順やルール、注意事項について」

講師 育児ファミリー・サポート・センター アドバイザー

安心・安全な援助活動を行っていたために、制度やルール・援助の内容・補償保険等をアドバイザーより説明しました。「こんな時、どうする？」では、様々な事例を熱心に取り組んでくださり、料金の計算も実際に行っていただきました。



令和元年
7月3日
(水)

安全・事故

「事故対策講習会」

講師 NPO法人C・キッズ・ネットワーク 酒井富美子さん

こどもの年齢によって危険な箇所や内容が変わるという話を聞いたり、様々な事例のスライドを見て学びました。こどもの視野体験では、こどもの視野の狭さを実感し驚かれていました。



令和元年
7月3日
(水)

保育の心

「育児支援者としての心構えと
親子との関わり方について」

講師 市幼児教育推進課 北保育所 副所長 印藤淳子さん

育児支援者としてこどもと関わる時には、①こどもの視線の先を見ると、こどもの興味や気になっていることがわかる ②危険なことは毅然とした態度で接し、その後わかってくれてありがとうと伝える ③こどもの気持ちを組みとって言葉にしてあげることなどが大切であると学びました。



令和元年
7月5日
(金)

こどもの世話

「こどもが快適に過ごすための
必要なケアと環境づくり」

講師 市健康政策課 保健師 矢嶋恭乃さん

こどもの発達や適切な室内環境について、月齢別に学びました。特に今どきの子育て事情の話に、とても興味をもたれていました。今の母子手帳や育児グッズを手に取り、ご自身の時とそれぞれ比べられ、感心されていました。缶の液体ミルクがあることを知り、みなさん驚かれていました。



令和元年
7月5日
(金)

こどもの栄養と食生活

「こどもの栄養と食生活」

講師 市健康政策課 栄養士 武田美奈さん

「安全・安心な食事とは」「食中毒は、感染経路や症状がさまざまであること・予防法」「食物アレルギーについて」「こどもの食事作りは、成長発達に合わせた対応が必要」ということを学びました。

離乳食の進め方で変化した点なども教えていただきました。飲み物に含まれる砂糖や菓子パンやアイスに含まれる脂質の量を知り、驚きを隠せない様子でした。



令和元年
7月6日
(土)

安全・事故

「乳幼児の緊急救命講習会」

講師 神戸救急グループのみなさん

乳児・幼児・大人の人形を使い、心肺蘇生法や AED の使い方を学びました。窒息したり、倒れて嘔吐がある場合の対処法や運び方などを参加者の方がモデルとなって実践し、積極的に取り組まれていました。



スキルアップ講座

令和元年 8月22日(木)

「覚えていると役に立つ応急手当講習」

講師 神戸救急グループのみなさん

就学前のこどもがおられるお母さんの参加も多く、AED・心肺蘇生法の話や救急インストラクターさんの体験談などを真剣な眼差しで聞いてメモをとっておられました。人形を使っての体験では、緊張しながらも万が一を想定し、熱心に取り組みされていました。

参加された方から「AEDがどこにあるか気にとめておきます」「誰が倒れても助けられるようにしておきたいと心から思いました」と声が届きました。



令和元年 8月23日(金)

「子育て支援で求められるサポーターとは」

講師 mottoひょうご 栗木剛さん

先生はユーモアを交えながら、会場の場を和ませて下さり、現代の子育ての大変さや相手との距離感の大切さ・難しさを話してくださいました。初対面の方とのグループトークも最初から盛り上がり、講座終了後も各グループで会話をされたり、多くの方が先生に質問されていました。



令和元年 9月7日(土)

「絵本の読み聞かせて生きる力を育てる」

講師 NPO法人「絵本で子育て」センター 羽石憲子さん

AI時代の今、求められているコミュニケーション能力をつけることが生きる力につながるという先生のお話にみなさん大きくうなずかれていました。

“機械を通しての声”は一方通行で、“生の声”は相手とコミュニケーションをとることができ、幼ければ幼いほど“生の声”で絵本を読んでもあげることが大切と学びました。



令和
元年度

スキルアップ講座のお知らせ

令和元年

12/11(水)

13:30~15:30
会議室1

「こどもの症状別ケアと大人の健康管理」

①自宅でできるこどものケアと緊急時の対応 ②体組成測定を行い、保護者や支援者の健康管理 ③ストレッチポールを使った簡単なストレッチを教えてくださいます。

- 講師/まちの保健室 看護師ボランティア 三谷貴子さん ●定員/30人(先着順)
- 託児/25人(先着順、要予約)1歳以上就学前 1人 300円 ※託児はむっくむっくルームにて
- 申込み/電話受付 育児ファミリー・サポート・センター TEL 772-4560

ただいま
受付中

令和2年

2/3(月)

10:00~12:00
会議室3

「あそびの力で生きる力をはぐくむ」

あそびを通して、何を大切に、どのような方法でこどもと向きあえば、こども自身が生きる力をつけていくことができるのか教えてくださいます。

- 講師/NPO法人生涯学習サポート兵庫 榎本英樹さん ●定員/30人(先着順)
- 託児/25人(先着順、要予約)1歳以上就学前 1人 300円 ※託児は人材養成・研修室にて
- 申込み/電話受付 育児ファミリー・サポート・センター TEL 772-4560

受付は令和元年
12月16日(月)
からです。

令和2年

2/17(月)

10:00~12:00
会議室3

「ちょっと気になる子のサポート」

ちょっと気になる様子のあるこどもや障がいのあるこどもと向きあう時に、どのようにサポートしたらよいかを教えてくださいます。

- 講師/NPO法人生涯学習サポート兵庫 榎本英樹さん ●定員/30人(先着順)
- 託児/25人(先着順、要予約)1歳以上就学前 1人 300円 ※託児は人材養成・研修室にて
- 申込み/電話受付 育児ファミリー・サポート・センター TEL 772-4560

受付は令和2年
1月15日(水)
からです。



みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

報告書が届いて



Yくん (1歳)

18:30 ~ 20:00

残業のため保育所迎え後預かり

協力会員宅にて預かり

今日は3人のこども(小6、小4、小3)を連れてお迎えに行きました。帰りのベビーカーもずっと一緒なので、たのしい踊りやお話をするとうくんも笑って来てました。「○○○○く〜ん」と名前を呼ぶと手をあげてくれるのがかわいくて何度も呼び、たまに違う名前を呼ぶと手をあげなくて、みんなで「Yくん天才!すごい!!」と大喜びでした。成長がかわいくて毎週会えるのが楽しみです。「週1回会える弟だね〜」とこども達が話してました。

協力会員 Kさん

Hちゃん (4ヶ月) 8:30 ~ 11:00

母がハローワークへ行く際の預かり

依頼会員宅にて預かり

依頼会員宅に到着すると睡眠中。9:55頃にお目覚め。しっかりと寝たようで、パッチリと目をひらいてにっこりしてくれました。ミルクもしっかりと飲んで、ゲップもでき、おむつ替えも足をバタバタと元気いっぱいでした。

協力会員 Dさん

Kくん (6歳)

16:50 ~ 17:20

保育所迎え後習い事へ

送り届ける

はじめての支援でしたが、いろいろとお話をしてくれました。フウセンカズラの種がハート型になっていることを教えてくれて、道端に落ちているのを見つけてみせてくれました。

協力会員 Oさん

事務局よりお願い

- 活動報告書の提出は月末で締めて翌月の5日までにお願いします。遅れる場合はセンターにお知らせください。
- お顔合わせが済んでいる協力会員さんへ直接ご相談し受けていただけたら、保険の手続きがありますので、事前に依頼会員さんからセンターまで受付のご連絡をお願いします。(留守電可)
- 協力または両方会員さんの中で、外国語の話せる方がいらっしゃいましたら、センターまでお知らせください。

令和元年
10月
スタート

幼児教育・保育の無償化について

- ファミリー・サポート・センター事業は無償化の対象となります。
- 伊丹市から「保育の必要性の認定」を受けた方が対象です。
- ※詳細は市教育保育課(072-784-8035)までお問い合わせください。

会員
随時募集中!!

年々援助の輪が広がっておりますが、中にはまだ育児ファミリー・サポート・センター事業をご存知ない方もいらっしゃいます。今お近くに、支援が必要な方、また、今なら支援ができるという方がいらっしゃいましたら、このお便りと共にご紹介いただければありがたく思います。よろしく願いいたします。

お申し込み・お問い合わせ先

伊丹市育児ファミリー・サポート・センター事務局

〒664-0014 伊丹市広畑3丁目1番地
伊丹市立地域福祉総合センター1階
(いたみいききプラザ)
TEL・FAX 072-772-4560

開館時間 午前9時~午後5時まで

休館日 日・祝日、年末年始

交通機関 JR伊丹駅または阪急伊丹駅から市バス昆陽里行きで三師団・交通局前バス停下車すぐ

